



「大手町の森」。都市を冷やし、人を潤し、生態系を充実させる。

選評

国際金融ビジネス拠点である大手町における都市再生特別地区を適応した複合再開発プロジェクトである。立地は街路樹が整備されたビジネス街の賑わいの軸である「仲通り」に連続し、地下鉄五路線の交通結節点で一日に五・五万人が行き交う大手町駅に近接している。計画にあたり、国際交流と金融ビジネスの拠点にふさわしい都市機能の更新・都市環境の整備および国際交流拠点としての機能構築が求められた。

本プロジェクトでは、今後とも再開発が連鎖的に続く仲通りに沿い三、六〇〇平方メートルの公開空地「大手町の森」を創出し、都市環境を整備している。また、拡幅・再整備された地下鉄ターミナル通路に接続した超高層低層部に、この大手町の森と視覚的に連続させた地下二階から四層吹き抜けの「プラザ」を設け、公共空間として開放することにより、快適で安全・

安心な都市機能の充実と自然光溢れる快適な地下から地上への歩行者ネットワークが構築されている。さらに、超高層最上層には国際的ラグジュアリーホテルを誘致することにより、国際交流の拠点としての機能を充実させている。

「大手町の森」は、皇居の緑と連携した野生を持つ自然の森の形成に成功している。三年間にわたる「プレフォレスト」(あらかじめ別の土地で使用する植栽を育成すること)で実証された育成・管理方法の研究成果が見事に結実している。この「大手町の森」は生態系ネットワークの形成、ヒートアイランドの緩和に寄与すると共に、都市のクールスポットとして大手町のビジネスマンへ憩いの場を提供している。

エンジニアリング面においては、プラザの大スパンを実現するため、Fc(設計基準強度)一五〇N/平方メートルの超高強度コンクリート



大手町タワー／大手町の森



BCS賞は、建築の事業企画・計画・設計、施工、環境とともに、供用開始後1年以上にわたる建築物の運用・維持管理等を含めた総合評価に基づいて選考し、建築主・設計者・施工者の三者を表彰する建築賞です。この賞は、1960年にはじまり2016年で57回を数えます。

< 2016年 第57回 BCS賞受賞作品 > 飯野ビルディング 大手町タワー／大手町の森 京都国立博物館 平成知新館 グランフロント大阪 高志の国文学館 ザ・リッツ・カールトン京都 住田町役場 東京スクエアガーデン 流山市立おたかの森小・中学校、おたかの森センター、こども図書館 日清食品グループ the WAVE 穂の国とよはし芸術劇場 プラット 八幡厚生病院本館 山梨学院大学国際リベラルアーツ学部棟 Ribbon Chapel 龍谷大学 和顔館 [特別賞] 札幌市北3条広場・札幌三井JPビルディング 日本橋室町東地区開発：室町東三井ビルディング、室町古河三井ビルディング、室町ちばぎん三井ビルディング、福徳神社

建築主

より 大手町の新しいシンボルに

大丸有地区の大手町の拠点として位置付けられた当該地は、東京の国際競争力向上のため、国際金融ビジネス拠点並びに国際交流拠点の形成と賑わいの都市空間の創造が求められ、そのシンボルとして「都市の再生と自然の再生」の実現を目指したものが、この「大手町の森」です。「大手町の森」づくりでは、設計者・施工者の真摯な取組みはもとより、専門家の先生方にも貴重なご意見とご指導をいただき、自然環境の創出による都市の再

生・地域への貢献を果たし、大丸有地区の新たな名所が創り出されました。都市再生特別地区として積極的に地域貢献を果たすべきとの揺るぎのない意志を込めたプロジェクト基本方針のもと、設計者・施工者と一丸に取り組んだ集大成として、この「大手町の森」が地域の街づくりの核となり、拠点に相応しい環境が創造できたものと事業者として誇りに感じています。



東京建物株式会社
都市開発事業部 理事
高野一郎
Ichiro Kouno



大成建設株式会社
設計本部 部長
田口 晃
Akira Taguchi

地上と地下を開放する

「大手町タワー」は大手町地区の丸の内側の玄関口に位置し、建替え更新が進み始めた大手町の街並み改善を主導する役目がありました。行き交う人々に安らぎと潤いを与え、従来の大手町のイメージを改善する空間づくりを目指しました。高い事業性が求められるオフィスとホテルをグランドレベルから上層に高く押し上げ、低層部の地上と地下を一体化した公共空間として開放しました。地下鉄

乗換客は「大手町タワー」を通るとき、溢れる地上の光と無機質だった大手町に忽然と現れた「大手町の森」を感じ取ることができます。完成後、「大手町タワー」を行き交う人々を見るたび、この東京・大手町という立地にあってグランドレベルを地域貢献の為の空間として大きく解放する計画に理解をいただいた事業者の皆様の決意に深く感謝しています。

設計者

より



地下1階「サンクンガーデン」。ビジネス街における新たな憩いの空間。



「大手町の森」と視覚的に連続する地下2階から4層吹き抜けの「プラザ」



オフィスメインロビー

【選考委員】
木下庸子・佐野吉彦・栗山茂樹

と引張強度七八〇N／平方メートルの超高強度鋼材を組み合わせた超高強度CFT柱を技術開発し適応している。また、環境・省エネルギー対策として建築外装・設備面での各種取り組みにより最高ランクの環境性能効率を実現している。施工面では、一〇〇kgを超える既存建物の解体において、効率化と環境に配慮した独自開発の解体工法「テコレップシステム」により、話題性を提供した。また、地下三五四の大深度掘削、地下鉄連絡通路との近接工事、短工期対応という難度の高い工事を、逆打工法等の高い技術力により解決している。本プロジェクトは、国際都市東京にふさわしい、都市機能の再整備・都市環境整備と新たな価値観の創造という目標の実現に向け、建築主・設計者・施工者が一体となり、都市に潤いと活力を与えることに成功した都市再生型再開発である。

施工者

より 都心施工での新たな試み

大手町という都心で、超高層・大深度建築の構築に加えて、地下ネットワークの拠点・国際級ホテルの施工、「大手町の森」を創出するという、多岐に渡る特徴を持ったプロジェクトでした。技術的にも新たな試みとして、①「大手町の森」の実証実験である3年間にわたるプレフォレスト②当時最高強度の超高強度のコンクリートと鉄骨を組み合わせ

たCFT柱③超高層建物の解体における「テコレップシステム」の開発に取り組み、成果を残すことができました。発注者・設計者・監理者・施工者がガッチリとスクラムを組んで臨んだことが、プロジェクトの成功に繋がったと思います。現在は大手町のシンボルとして多くの人々に利用されており、改めてこのプロジェクトに携われたことを嬉しく思っています。



大成建設株式会社
東京支店
建築第六部 部長
高瀬洋一
Youichi Takase



全室70㎡超のホテル客室



皇居への眺望を誇るホテルロビー

計画概要

建築主：東京建物(株)

設計者：大成建設(株)
Kohn Pedersen Fox Associates PC
株式会社日本設計

施工者：大成建設(株)

所在地：東京都千代田区大手町1-5-5
竣工日：平成26年4月30日

敷地面積：11,037㎡
建築面積：5,795㎡
延床面積：198,467㎡

階数：地上38階、地下6階、塔屋3階
構造：地上：鉄骨造
地下：鉄筋コンクリート造(一部鉄骨鉄筋コンクリート造)